



## 北薩森林組合通信 Vol.1.5

事務所の統合・業務改善など組織を再編！

—第12回通常総代会を開催—

北薩森林組合は、8月27日、薩摩川内市の国際交流センターで第12回通常総代会を開催しました。

今回の総代会は新型コロナウイルス感染防止対策として、書面議決による賛否を優先するという特例措置を講じたため、出席者は本人34名、書面議決142名、合計172名で、出席率は88%でした。



藤岡組合長あいさつ

藤岡芳昭代表理事組合長のあいさつ、県森林組合連合会森山裕代表理事会長の祝辞に続き、薩摩川内市の別府俊明組合員を議長に選任して議事に入り、令和元年度の事業報告、2年度の事業計画など9つの議案が審議され、提出された全議案について提案どおり承認可決されました。

事業報告では、昨年10月の消費増税による住宅着工の反動減の影響で国産材製品の需要が伸び悩む中で、米中間木材貿易摩擦、新型コロナウイルス発生により、原木価格の下支えをしてきた輸出の不振が材価低迷に拍車をかけたため、林産・販売部門が取扱量・取扱高共に減少に転じたこともあって、事業総利益は179,472千円の実績。

事業計画では、組合本来の事業である組合員からの受託による除間伐等の森林整備事業を中心に事業を展開し、199,893千円の事業総利益を見込んでいます。

計画達成に向けて、主力事業である森林整備事業の本所一括管理等による業務の円滑かつ適正な運営及び、7月豪雨災害で被災した川内支所の早期復旧を目指して、本支所事務所の統合・業務の改善を柱とする組織の再編を行うこととしています。